

広報すかつと

あのまちの新しい取り組みやちょっと気になる情報をお届け!



未来のクリエイター誕生!

みんなが集まる伝統行事

4年ぶりの通常開催

すかがわの誇り「二人の円谷」

「松明あかし」が冬の季語に!

2024年はなにが起きる?

おいしいグルメがいっぱい!

「板橋駿谷の須賀川物語」には、地域で輝いているたくさんの方が出演しています。先月、見逃してしまった方、もう一度見たい方もYouTubeでチェックし、ぜひロケ地めぐりにもお越しください!

企画政策課
シティプロモーション推進係から
皆さんへひとこと!

ドラマで移住体験の案内人として出演! 撮影で様々な人たちとモノを作る楽しさ、人が繋がっていく楽しさを実感しました。皆さんもすかがわと一緒に新しい発見を楽しみましょう!

地元は板橋さんと同郷の長沼です! 大河原信也さん

大学のゼミ繋がりで須賀川人! 伊藤秀太さん

好きです わたしのすかがわ すかがわ シティプロモーション

すかがわ

シティプロモーションとは?

光の国と姉妹都市で、歴代ウルトラマンや怪獣が松明通りに立ち、特撮塾では大人も子供もものづくりに熱中。まちを歩きながら言葉遊びを楽しむ人のそばをランナーズがさっそうと走り抜け、つい最近では、地元出身の俳優主演で地域発テレビドラマが放送されたばかり。「すかがわは何かと話題がつきないなあ」と感じるのは編集部に限ったことではないはずですが、実はこれ、市が4年前から推し進めてきたシティプロモーション活動がじわじわと形になって現れてきたものなんです。

シティプロモーションは、関係人口その地域と様々な関わりを持つ人々を増やし、シビックプライド(住民が地域に対して持つ誇らしさや愛着)を育むことで、まちや人、仕事の活性化を目指すもの。全国の自治体がいま盛んに取り組んでいる活動のひとつです。活動の目標、進め方は地域によって様々ですが、須賀川市では10年後の未来をイメージして住み続けたいまち「すかがわ」を目標に掲げ、特撮・マラソン・俳句といった地域の歴史・文化に光をあて、県内外にその魅力を発信しています。

「好きです わたしのすかがわ」
市の企画政策課にシティプロモーション推進の部署ができた令和2年は、「市民交流センター」の「円谷英二ミュージアム」「風流のはじめ館」「特撮アーカイブセンター」などの交流・文化施設が次々とオープンした年でした。時を同じくして広がったコロナ禍は日常に閉そく感を感じてしまいましたが、それぞれの施設からワクワクするような話題が繰り出されるたびに、「ほつ」と気持ちがあぐらかれた経験をした人も少なからずいたのではないのでしょうか。

そのようななかシティプロモーション推進担当の大河原さん、伊藤さんは、ここに住む人や関わる人にとつてすかがわが「思い入れのあるまち」になれるよう、外の視点を借りながら他に誇れるモノやコトをまとめたプロモーション冊子「須賀川事典」の作成に携わってきました。「年に1冊のペースで、(特撮編)ランナーズ編(俳句編)の3冊を発行し、広報紙といっしょに各戸に配布しました。誌面には映画監督、宇宙飛行士、漫画家、クリエイター、アスリート、科学者、俳優と各界の著名な方たちが登場し、「好きです わたしのすかがわ」をテーマに、すかがわの歴史や文化の魅力について語ってくださっています。地元では身近にあり過ぎて大したことはないと思ってきたことが、本当はかけがえのないモノだった! そういう気づきは、担当する私たちにもありましたと二人。これまでの活動を通して「すかがわをもっと知ってほしい! もっと伝えたい!」という思いが強くなったといいます。

令和5年12月に放送された福島中央テレビのドラマ「板橋駿谷の須賀川物語」は、この4年間の活動とそのつながりから派生し実を結んだものでした。作品で移住者を演じた板橋駿谷さんとともに地元の人たちが本人として出演協力した全14話の映像は、YouTube配信のほか今後のプロモーション内容にあわせて積極的に発信していく予定。また、冊子「須賀川事典」は、市のホームページでデジタル版を公開中です。

自分のまちの魅力を
知る!
【須賀川事典】

実在のお店、
スポット、地元の人
が全面協力!

